

会員建築作品紹介

川崎支部 (有) 上原建築設計事務所 上原 伸一



【南西側より全体を見る】

全体の意匠はコンクリート打ち放しのフレームと同系色の柱型によってまとめました。屋上プールの外壁であるコンクリート打ち放しのボリュームが校庭側からのアイストップとなっています。



【中庭からの見上げ】

中央にシンボルツリーのある中庭は子供の憩いの場となります。曲面の壁を一段濃い色彩とすることで、中庭のアクセントとしました。



【廊下に面する多目的ホール】

廊下とは可動間仕切りで仕切られ、用途に応じて教室・廊下と一体的な利用が可能であり、フレキシブルな利用形態が想定されています。

■施設概要

所在地：川崎市中原区宮内
構造：鉄筋コンクリート構造 4 階建
敷地面積：11,461.15㎡
延床面積：8,886.98㎡
建築面積：3,791.07㎡

【屋上より中庭】

屋上には太陽光発電パネルを設置し、環境への配慮を意識しています。



【避難階段】

避難階段の防火扉はエリアごとに異なるカラーが用いられ、子供にも分かりやすい避難計画が可能です。



【廊下ベンチコーナー】

中庭からの自然光が差し込む廊下は一部にベンチを設け、子供の憩いの場となるようにしました。



地域の核となる小学校

川崎市立宮内小学校の改築では、地域の核としてまた生涯学習やまちづくりの中心として将来にわたって地域のシンボルとなり得る施設、子どもたち、先生、地域住民のふれあいの場、活動の場として地域に開かれた施設、また地域防災の拠点として強固で有効な施設として計画、また環境共生と環境負荷の低減に取り組み、他世代の人々の様々な要求にフレキシブルに対応できるようゆとりのある空間づくりで長期にわたる使用が可能な建物を目指しました。

平面計画では敷地を有効に生かすために、中庭を囲む形で管理ゾーン(職員室等)、学年クラスターゾーン(オープンスペース+クラスルーム)、特別教室ゾーン(図工・理科・音楽等)、開放ゾーン(体育館・図書等)を配置し、回遊性を持たせた廊下により各室に至る動線の効率化と避難経路の明確化が図られています。またこのシンボルツリーのある中庭は、ピロティを通じて登下校あるいは開放のための動線及び監視やコミュニティーの形成の空間としても有効です。設計を担当した当事務所としては、今後この学校が、生徒の皆さんや地域の皆様に永く愛され続けることを願っています。